

2012年12月期第3四半期決算

2012年11月2日
キリンホールディングス株式会社

2012年 第3四半期ハイライト

対前年増収。海外酒類・飲料事業が堅調に推移し収益に寄与

(億円)	2012年3Q	対前年増減	
国内酒類	6,223	▲139	▲2.2%
国内飲料	2,502	139	5.9%
海外酒類・飲料	4,253	776	22.3%
医薬・バイオケミカル	2,380	▲160	▲6.3%
その他	700	▲46	▲6.3%
売上高	16,061	569	3.7%
国内酒類	436	▲133	▲23.4%
国内飲料	33	1	4.4%
海外酒類・飲料	171	21	14.1%
医薬・バイオケミカル	392	▲13	▲3.4%
その他	35	▲13	▲27.3%
営業利益	1,052	▲147	▲12.3%
持分法による投資損益	▲16	▲95	—
経常利益	912	▲243	▲21.1%
特別損益	▲59	245	—
税金等調整前四半期純利益	852	1	0.2%
四半期純利益	253	▲15	▲5.8%

➤ 売上高

- ・ブラジル事業の損益取込みによる海外酒類・飲料事業の増収
- ・国内飲料事業の販売増 など

➤ 営業利益

- ・豪州・ブラジルともに、海外酒類・飲料事業が計画通りに推移
- ・協和発酵キリン化学品事業外部化影響（昨年3月）など

➤ 経常利益

- ・キリンアムジェンの持分法損益減少 など

国内総合飲料事業 キリンビール・メルシャン・キリンビバレッジ

基盤ブランドの強化、新しいお客様価値の創造、コスト効率化を一層推進

(億円)		2012年3Q	対前年増減	
	キリンビール※2	5,555	▲152	▲2.7%
	メルシャン	469	▲35	▲7.0%
	キリンビバレッジ	2,512	129	5.4%
売上高※1		8,726	▲0	▲0.0%
	キリンビール※2	406	▲141	▲25.8%
	メルシャン	4	2	126.5%
	キリンビバレッジ	30	▲1	▲4.4%
営業利益※1		469	▲131	▲21.9%

- キリンビール
 - ・業務用を中心にビールが堅調（「一番搾り フローズン〈生〉」効果等）
 - ・RTDが順調に推移（対前年+9.1%）
- メルシャン
 - ・デリーワインが引き続き好調
- キリンビバレッジ
 - ・「メッツコーラ」の累計販売本数が1億本を突破
 - ・「午後の紅茶 おいしい無糖」・「世界のKitchenから」シリーズ等も増分に寄与

※1 : 国内酒類+国内飲料

※2 : キリンビール+キリンビールマーケティング



海外総合飲料事業（オセアニア） ライオン

好調な豪州酒類事業の牽引により、年間目標を達成の見込み

2012年3Q		KH連結ベース		現地ベース	
		(億円)	対前年増減	(百万AUD)	対前年増減
	酒類	1,410	▲1.3%	1,727	1.7%
	飲料	1,565	▲12.6%	1,917	▲10.0%
売上高 計		2,975	▲7.6%	3,645	▲4.8%
	酒類	366	3.1%	449	6.3%
	飲料	45	▲40.7%	56	▲38.9%
	本社費用	▲52	63.4%	▲64	68.3%
営業利益 計		359	▲10.2%	440	▲7.5%
のれん償却		▲189	▲2.9%	▲231	—
ブランド償却		▲28	▲59.5%	▲35	▲58.2%

➤ 酒類事業

- ・ 堅調な基盤ブランドに加え、販売権を取得したインターナショナルプレミアムブランドの寄与もあり、市場縮小が続く中、販売数量は対前年プラスを維持しシェアを拡大。ミックス改善もあり、現地ベースで増収増益

➤ 飲料事業

- ・ 白牛乳を中心に低価格化が続く中、NBミルク等の商品差異化に取り組むも、PB契約減少や果汁飲料等の販売数量減少により、減収減益。4Qで費用の期ずれが解消されるため、年間の営業利益目標は達成の見込み

<のれん・ブランド償却前営業利益 増減要因>

(百万AUD)	2012年 3Q	2011年 3Q	対前年 増減	主な要因	
酒類	449	422	26	販売数量増減	▲4 (販売数量 0.2%)
				原材料コストアップ	▲8
				その他	38
飲料	56	92	▲35	販売数量増減	▲91 (販売数量 ▲13.3%)
				原材料コストアップ	▲74
				その他	129

①為替換算レート 2012年：1AUD=81.64円、2011年：1AUD=84.11円

②対前年増減における為替影響：売上高 ▲90億円（酒類 ▲42億円、飲料 ▲47億円）、営業利益 ▲10億円（酒類 ▲11億円、飲料 ▲1億円、本社費用 +1億円）
のれん償却 +5億円、ブランド償却 +0億円

海外総合飲料事業（ブラジル） スキンカリオール

ビール・飲料ともに販売が好調。年間目標達成に向け順調に推移

2012年3Q	KH連結ベース (億円)	現地ベース (百万BRL)
酒類	+5.3%	
飲料	+10.8%	
販売数量（対前年増減）	+7.2%	
売上高	1,020	2,467
酒類・飲料合計	82	198
のれん償却額	▲69	▲168
営業利益	12	30
EBITDA	144	350

連結期間：2012年1月～9月 為替換算レート：1BRL=41.38円

＜売上高明細※＞	(億円)	(百万BRL)
酒類	710	1,716
飲料	199	482

※ 制度会計上含まれる税金等を除く管理会計ベース売上高

➤ 四半期推移

	上半期	7-9月	1-9月
酒類	+2.3%	+11.4%	+5.3%
飲料	+8.1%	+16.4%	+10.8%
販売数量（対前年増減）	+4.4%	+13.1%	+7.2%
EBITDA（百万BRL）	172	178	350

➤ PMI活動は引き続き計画以上の進捗

- ・調達プロセスの抜本的改善
- ・日本・豪州との共同調達の検討

➤ 新商品「SCHIN NO GRAU」（6月発売）を計画通りに展開拡大

➤ 北部・北東部において、主力商品「NOVA SCHIN」を中心に、高い市場プレゼンスを堅持



医薬・バイオケミカル事業 協和発酵キリン

主力医薬製品の販売好調等を背景に、年間目標達成に向け順調に推移

(億円)		2012年3Q	対前年増減	
	医薬	1,822	141	8.4%
	バイオケミカル	561	▲0	▲0.1%
売上高※		2,446	▲176	▲6.7%
	医薬	348	17	5.2%
	バイオケミカル	22	▲8	▲26.7%
営業利益※		392	▲13	▲3.4%

※売上高・営業利益の減少分の内、協和発酵ケミカル連結除外の影響は、
売上高▲327億円、営業利益▲21億円

<主要医薬品販売状況>

(億円)		2012年3Q	前年比
腎	ネスブ	410	102%
	レグパラ	95	116%
免疫・アレルギー	アレロック	218	98%
	パタノール	85	87%
がん	グラン	98	93%
循環器系	コニール	125	88%
新製品	フェントス	32	157%
	アサコール	28	145%

- 医薬事業（営業利益+17億円）
 - ・ 腎性貧血治療剤「ネスブ」をはじめとする主力製品の好調
- バイオケミカル事業（営業利益▲8億円）
 - ・ 高付加価値なアミノ酸・核酸関連物質を中心とする医薬・工業用原料が好調
 - ・ 欧州信用不安による円高が影響
- 新薬開発
 - ・ 欧米において、成人T細胞白血病リンパ腫を対象とした KW-0761 の第II相臨床試験を開始（8月）

おいしさを笑顔に

KIRIN